

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常磐每日新聞社

常磐每日新聞

定額 一部金貳錢 廣部五錢 印刷費五錢 郵費五錢 零售每份五錢 廣告費 每日每行五錢 長期廣告 另議 印刷部 電話六三〇番

九月十五日夕刊

常磐論壇

人口と移民問題

一 承前一 稻田周之助

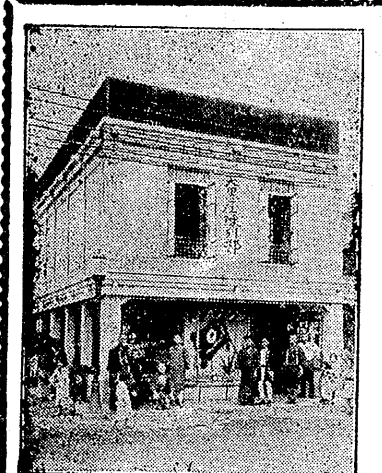
加之歐羅巴諸國の移民は人口問題に原因するものにあらずして政治上宗教上の壓迫に餘儀なくせられたるものであつて決して食糧問題の爲めに愛郷心を犠牲にしたるものではない、乃ち歐羅巴諸國に於ては人口増殖率の最も高き時代には海外移民は少くして反つて人口の増殖率漸く減退しつつある時代多くの移民を出したのである而して人口の繁殖力の旺盛なることは其

の民族の繁榮を語るものであるが現に歐羅巴の諸國は漸次に繁殖力を減じ伊國其他の如きに至りては如何にして人口の減退を防止せんかに苦心しつつあるといふ哀れな状況にある、我國の人口も今日に於てこそ繁殖力は旺なるも曾ては殆ど増加を見なかつた時代もあり又今日と雖も大正十二年度を最高として既に増殖率の減退を示しつつあるのであつて従つて徒らに人口の増加といふことを頭痛に病むといふことは余の到底賛成し難い所である、兎に角人口問題と移民問題を混同して取扱ふことは大なる誤

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優 寧叮速敏

所刷印日每警常 五三町橋長町平 (電〇三六話電)



元氣ある店に人集る

拾五歳以下の少年店員を募ります。よく將來を考へ他日立派な商人たらしめる方はお申出でを

店の組織(卸部一三丁目十五番地) 卸部にて外交的手腕を養ひ、小賣部にて販賣仕入に熟達せしむ

(優遇の途あり、詳細面談)

小間物 商大黒屋商店 化粧品 電話二二六

平町三丁目(電話二二六)

北陸電気工業株式會社製

カーバイト

特約販賣

福島縣平野町丁日七番地

合資會社 平銃砲火藥店 電話四四一

東北の 花澤の 餅

花澤の餅 花澤の餅 前平駅

常磐文藝

夏季旅行して

吉澤佐嘉英

青草と黒土匂ふ畑中に兒に乳よくむ若き母あり

峠路やはるか開ゆる瀧の香に若葉楓の奥のぞき見る

なげなくま暗らき庭にたすみて草の露見し稻妻の夜

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

召し上れ

飛切り美味しい

マツモトの

特製カステーラ

一本拾錢

ヤトモツマ

番四一二話電

地所埋立請負

弊社南町裏ニ土砂運搬軌道敷設中ノ處今般竣工事業開始致候ニ付全方面一般ノ地所埋立請負仕候間多少ニ拘ハズ御用命相願候

平町字四町目二番地

工榮商會

東京高梨家秘傳名灸出張

九月二十四日まで

(受付時間) 毎日午前八時より 午後三時まで

病氣全快の禮狀二百通持参したれば御覽下さい

リウマチ、神経痛、頭痛、生器不能、めまい、血の道、子宮、ヒスラリー、眼病、心臓、中氣、中氣よぼり、腰痛、せんき、水氣、いぢよう、ね小便、りん病、せきさい、せんき、水氣、いぢよう、ね小便、かん、とう、よう、病、ど、も、り、い、れ、い、き、氣管支、息切、か、ん、の、虫、月、經、痛、乳、不、足、女、肋、膜

出張所 平町六丁目 救世軍前

博愛病院

平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

近日常開

外科	日本醫學士 河井壽雄
耳鼻科	日本醫學士 河原英雄
咽喉科	金澤醫學士 村島耕造
小兒科	藥劑師 河村晋平
産婦人科	
泌尿器科	

入院の設備あり

父雅宣儀豫而病氣中の處

養生不相叶九月十四日午前五時死去致候に付此段謹告仕り候

追而九月十六日午後一時自宅に於て神式に

より告別式執行致候

大正十五年九月十四日

平町南町卅一番地

親族 男 高上 耕作

總代 高上 俊雄

友人總代 鈴木 重六

老後の保障に 郵便年金の制度

恩給を買ふのと同じ 來月から開始される

國民老後の經濟生活を保障 郵便年金には二種あつて 即時終身年金といふのは 加入したその時から死亡 するまで一生年金を支拂 するもので之は四十歳以上 八十歳までの間でなければ 加入が出来ない、之は 若く老人程安くなつてゐ る最上の一つは据置終身年 金で之は加入後一定の年 齢(五十歳、五十五歳、六 十歳、六十五歳)に達し た時から終身年金を支拂 ふものである、之は十二 歳から六十歳まで加入出 来るこの据置年金の掛金 は一時拂ひと年掛、半年 掛、三月掛の區別がある

資本金が その使用 人を年金受取り人として加 入することにもすれば圓 満な勞資協調も出来るとい ふもの此年金保険について は民間保險會社でも久しい 前から研究はしてゐたが將 來の經濟状態に變動がなく ない確信し得れば兎も角 金利といふものは將來だん 々安くなるといふ説が信 せられるので實行し得ず にゐたものである、幸ひ政府 にはこれが事務取扱ひのた めには郵便局を利用するの で事務費としては極めて 僅少額で 済むので つまり政府なればこそ斷行 し得たものといへる、この

掛金だけ を拂ひ戻 す仕組の元金留保と拂ひ戻 しをしない元金抛棄と二通 りあつて留保の方は掛金が 少し高いが加入申し込みの 際選擇は自由である 元金留保の加入者に對し ては掛金に充てるためや その他の必要のためにも 拂込掛金の範圍で資金 の融通もする又留保の据 置終身年金に限つてその 据置期間中は支拂開始年 齡の線上繰下或は即時終 身年金に変更する事も出 来る、又この元金留保の

契約では萬一年支拂開始 前に受取人が死亡すれば 拂込掛金を全部拂戻す 支拂開始前死亡の際は 拂込掛金からその時まで 支拂つた年金額を差引い た残りだけを返す事にな がつて居り途中解約の場合 も掛金の九割以上戻す事 になつてゐる 年金金額二百五十圓以下は 差押へが出来ぬといふ保護 的制度も設けられてゐる、 その他色々はしい制度も あるがこれは最寄の郵便局 で聞いて貰ひたいといふ

戸主が留守で 思ふ様に抄せらぬ

縣議名簿作成の苦心 町長から有権者へ

平町役場では今十五日現在 依る縣議選舉名簿を作成 する可く目下吏員が各區を分 擔して調査中にあるが留守 其他の事由によつて進捗せ ず吏員はこぼしてゐるが右 につき伏見町長は語る『戸 主が不在其の他の事情で思 ふ様抄せらるゝ困つて居るが 例令戸主がゐなくとも留守 預かる者は調査員が出張 した際に之に對し答辯し得 る様豫め戸主から言ひ含め て置いて貰ひたい』云々

關東北庭球 大會を開く

磐炭が主催 大會を開く

磐城炭礦庭球部が主催とな り十月三日午前八時半から 湯本町天王崎及温泉神社コ ート(常磐線湯本驛より約 二丁)に於て第一回關東北 軟式庭球大會を開催する筈 大會規則左の如く前夜一泊 の選手には旅館を案内し尙 炭礦視察希望者には便宜を 計る由



家庭欄

海苔の貯へ方 香りと味はこの點から云つ てもまた近頃の榮養説から 見ても海苔は非常によいも のです、ところがその貯へ

常磐片々

見るなど云ひは見たくなり 食べるなど云ひは食べたくな る、ソノ癖見ると云つて も仲々見ず、食べると云ひ ば仲々食べぬ

選舉權が欲しいと騒ぎ廻つ た揚句漸く普選が實施で本 望成就の筈

處がいま平役場では縣議選 舉の有権者名簿を調製する 爲め吏員總出で『迷兒の迷 兒の所有権者ヤーイ』と探 し廻つて居る

今秋の 服洋の兒女

色は濼は好み

漸く探し當てれば『戸主が 不在でわしや知らぬ』と云 つた調子 一体欲しかったのか欲しく なかつたのか？氣を採ませ るにも程がある

秋の子供 洋服の中 へ男の子 のそれに は取りた て、いふ 程の變り 方は見えないが、女の子の 方は多少の新しさを見せて ゐる、即ち色目は近頃だん 々濼さ好みの物が多くな つたが今年のそれも幾分落

流行を 見せるのは

ち付きがある、特に今年の 葡萄燕脂で、その他深いブ ラウン或はグリーンの濼い 物等である、型としては普 通の服にコートや羽織つた やうな体裁に拵へたのが今 年の新型である、又飾りと してはすべて生地の色を 考へてそれに依つてさつぱ りとした

面白味 を見せてゐ

る、例を挙げると襟を白の 折返しにネクタイ付きとし 羽織られた葡萄燕脂のコー トの下、腹部の邊りに灰色 の地が見え、スカートはコ ーとと共色にした物、白の ドレスに紺のサスペンダー

汗の結晶 虎の子盗る

五百八十圓盜難 鮮人坑夫の痛事

石城郡磐崎村大字藤原藤原 炭礦會社従業員朝鮮人準貞 金方に十四日午前三時頃覆 面の怪賊忍びこみ、廿數年

庭球規則に依る(但し準 決勝戦の前まではゲーム 五回) △優勝チームの表彰 優勝チームには磐城炭礦 優勝杯を授與し保持期間は 次の大會迄とし三回續け て優勝するチームに贈呈 する

不平受付

投稿歓迎 平局の時計 平郵便局の 受付の時計は平驛より七分 遅れて居ます、其處で丁度 八時に行くと女事務員が鏡 を出して居たり其他いろいろ オシヤレをして居て『未 だ八時になりません』と申 し待たされ、平驛の時 間が間違つて居たら大變な 事になるから是れは平局の 時計を合せ更らに毎朝八 時前に監視員が時計を合 せて居るのですから決し て間違つては居ないと思 ひます

天氣 豫報

(日六十) 曇り

めにいろ／＼な保存法を考 いてゐた人もあるでせうが 此處に簡單でよい一法があ ります。その方法はブリキ の罐の下に煎り麥を敷き詰 めてその上に保存しますと 妙に濕氣も來なければまた 香ひが少しも失はれること なく何時も新しいのを食 べられます

平町人事

出生 △北目町一〇長野菊彌氏三女水子 △南町七八内山實雄氏長女タキエ △婚姻 △栃木縣芳賀郡平町小堀源次郎 (五二)丁目一〇吉田ミツ(四六)